

SHARP®

インフォメーションディスプレイ

形名

PN-L401C

取扱説明書

HDMI®

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」(3ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

もくじ

安全にお使いいただくために	3	各種設定メニュー	24
使用上のご注意	5	メニューの基本操作	24
付属品を確認する	7	メニュー項目の詳細	25
動作条件	7	コンピューター画面の調整について	29
各部の名前	8	コンピューターで本機を制御する (RS-232C)	30
設置について	10	接続のしかた	30
機器の接続	11	通信仕様	30
電源の接続	12	通信手順	30
ケーブル処理のしかた	13	RS-232C コマンド一覧表	32
ロゴシールの貼りかた	13	コンピューターで本機を制御する (LAN)	35
リモコンの準備	14	ネットワークに接続するための設定をする	35
電池の入れかた	14	コマンドによる制御	36
リモコンで操作できる範囲	14	故障かな?と思ったら	37
WEB カメラの付けかた	15	アフターサービスについて	39
電源の入/切をする	16	仕様	40
主電源を入れる	16	使用しているソフトウェアのライセンス情報	45
電源を入れる/切る	16	設置時の注意事項 (ご販売店・設置業者様用)	47
基本的な操作	17		
タッチ操作	20		
タッチモードについて	20		
タッチ操作	20		
その他の機能について	22		
使用上のご注意	23		
イレーザーについて	23		

ペンソフト、インフォメーションディスプレイダウンローダー、SHARP ディスプレイコネクトについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- ※ クラス A 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。
HDMI 入力端子、D-sub 入力端子、RS-232C 入力端子、DisplayPort 入力端子

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号の意味 (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける**必要があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いもの下敷きしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。



電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。付属の電源コードは AC100V 用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。火災や感電の原因となります。



ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。



本機の裏ぶたを外さない。改造しない。内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。



本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさない。火災や感電の原因となります。本機の上や近くに花瓶など、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等水を排出する機器にも注意してください。



アースを接続する。アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。




航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。





電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない。


注意


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

- 


電源コードは、必ず付属または指定のものを使用する。
付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。
- 


本機近くのコンセントを使用する。
電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する。
- 


電源コードは、タコ足配線しない。
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
- 


電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。
- 


火災や感電を防ぐために、次のことを守る。


 - 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
 - お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 


直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。
発熱や発火の原因となることがあります。
- 


ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 


うつ伏せ、逆さまにして使用しない。
熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。
- 


上にものを置いたり、上に乗ったりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 


風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。
- 

画面を強く押ししたり、衝撃を与えたりしない。
画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。
- 


画面を先のとがった物で押さない。
破損や故障、けがの原因となることがあります。
- 


硬いものでこすったり、たたいたりしない。
破損してけがの原因となることがあります。
- 

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外す。
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
- 

通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。
内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。
(内部の清掃費用については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。)
- 

乾電池の使用にあたっては、次のことを守る。
使いかたを誤ると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因となります。

 - 指定以外の電池を使用しないでください。
 - プラス (+) とマイナス (-) の向きは、表示に従って正しく入れてください。
 - 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
 - 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
 - 消耗したときは、速やかに交換してください。
 - 長時間使わないときは、電池を取り出してください。
 - 廃棄するときは、プラス (+) とマイナス (-) をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。
 - 火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしないでください。
- 

乾電池から液が漏れて皮膚や衣服に付いたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。
皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。
- 

本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。
低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

- ・本機の電源 ON 時は、画面に触らないでください。画面に触れると、正しく動作しない場合があります。その場合は、本機の電源を入れ直してください。
- ・タッチパネルを接続しているコンピューターに他の USB 機器が接続されている場合、タッチパネル入力中に USB 機器を動作させないでください。正しく入力できない場合があります。
- ・画面にケーブル類等を近づけないでください。タッチパネルの誤動作の原因となります。

お手入れのしかた

必ず主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

◆キャビネットの部分

- ・汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

◆画面の部分

- ・画面の表面は、柔らかい布（レンズクロスやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつかますのでご注意ください。
- ・画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。
- ・画面の保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。
- ・汚れた布は使用しないでください。傷つく場合があります。

ツメ、鉛筆などの硬いものや鋭利なもので操作しないでください

使用するアプリケーションによっては、タッチペンが機能しない場合があります

本機では、映像を回転させることはできません

- ・縦長で使用する場合は、縦長のコンテンツをあらかじめご用意ください。

電磁波妨害に注意してください

- ・本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

周囲温度は 5℃～ 35℃の範囲内でご使用ください

- ・別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。

低温になる部屋（場所）でご使用の場合

- ・ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

直射日光が当たる場所で使用しないでください

熱気は避けてください

- ・直射日光が当たると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・液晶や部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- ・急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品位が低下する場合があります。

長時間ご使用にならないとき

- ・長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

海外では使用できません

- ・本機を使用できるのは日本国内だけです。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露（つゆつき）について

- ・本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

使用が制限されている場所

- ・航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

LED バックライトについて

- ・本機に使用している LED バックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、点灯しないときは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

連続稼働時間と保証について

- ・当製品は、1 日 16 時間以内での使用時間を前提に設計されています。1 日 16 時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。

使用上のご注意

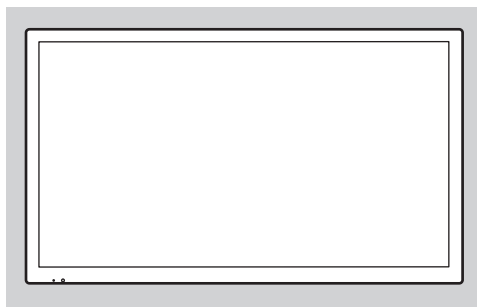
取扱説明書について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- 本書では、特に断りのない限り、横長で使用する場で説明しています。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- DisplayPortはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
- Adobe、Acrobat および Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- インテル、Celeron、Intel Core 2 Duoは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- AMD、AMD Sempron、AMD Athlon およびその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

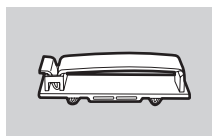
本体:1台



リモコン:1個



ケーブルクランプ:
3個



- 電源コード(AC100V用・約3m):1本
- リモコン用乾電池(単4形):2本
- CD-ROM(ユーティリティディスク):1枚
- SHARPディスプレイコネクトライセンス証書:1枚
- セットアップマニュアル:1部
- 保証書:1部
- タッチペン:1本
- トレー:1個
- トレー取付ネジ/カメラマウント取付ネジ(M3):各2個
- USBケーブル(約3m):1本
- カメラマウント:1個
- カメラ取付ネジ(インチネジ):1個
- ロゴシール:1枚
- 縦用シール(操作パネル):1枚

スタンド

- スタンド支柱:2本
- スタンド脚:1本
- VESAアングル:1個
- スタンド取付ネジ(M3/M4/M6):各4個

※ CD-ROM 内のソフトウェアの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

※ AC200V (50/60Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。

動作条件

コンピューター	USBポート(2.0準拠)を搭載し、1920×1080の解像度が出力できるPC/AT互換機
OS	Windows 7 (32ビット版/64ビット版)、Windows 8.1 (32ビット版/64ビット版)、Windows 10 (32ビット版/64ビット版) ※タッチパネルは、Windows標準ドライバーで動作します。
CPU	インテル Celeron または AMD Sempron 1.6GHz 以上 インテル Core 2 Duo または AMD Athlon II X2 2.8GHz 以上を推奨
メモリー	2GB 以上
ハードディスク	空き容量 200MB 以上 (データ保存のための空き容量が別に必要)

タッチパネルを使用するには、付属のUSBケーブルをコンピューターに接続する必要があります。

ペンソフトは付属のCD-ROMからインストールします。

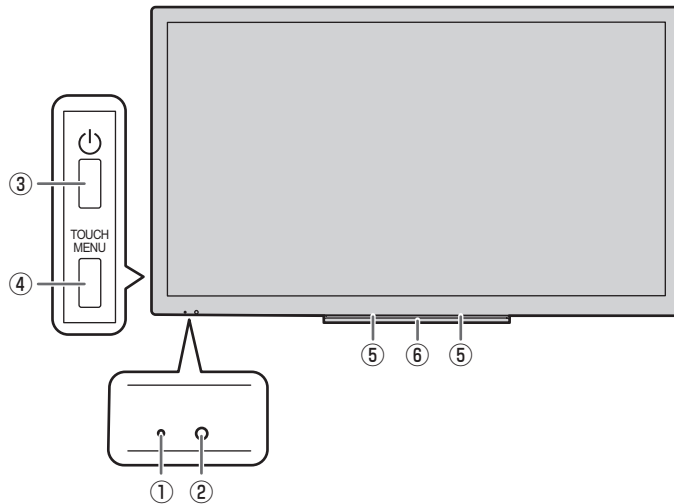
インフォメーションディスプレイダウンローダーをインストールすると、各ソフトウェアの最新版の確認と最新版のダウンロードができます。

各ソフトウェアのインストールについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

タッチビューアー、SHARPディスプレイコネクトは、インフォメーションディスプレイダウンローダーでセットアッププログラムをダウンロードします。

各部の名前

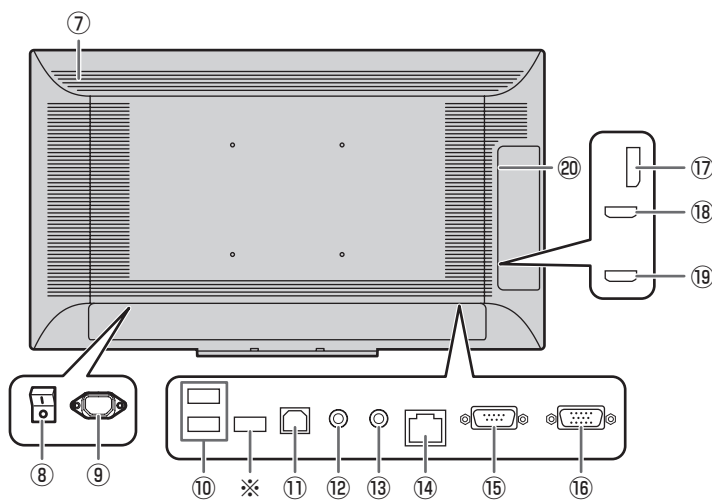
■ 前面



- ① 電源ランプ (16 ページ)
- ② リモコン受光部 (14 ページ)
- ③ 電源ボタン (16 ページ)

- ④ TOUCH MENU ボタン (17 ページ)
- ⑤ スピーカー
- ⑥ トレー (47 ページ)

■ 背面



- ⑦ 通風孔
- ⑧ 主電源スイッチ (16 ページ)
- ⑨ 電源接続端子 (12 ページ)
- ⑩ USB 端子 (12 ページ)
- ⑪ USB 端子 (タッチパネル用) (12 ページ)
- ⑫ 音声出力端子 (11 ページ)
- ⑬ 音声入力端子 (11 ページ)
- ⑭ LAN 端子 (11 ページ)
- ⑮ RS-232C 入力端子 (11 ページ)
- ⑯ D-sub 入力端子 (11 ページ)
- ⑰ DisplayPort 入力端子 (11 ページ)
- ⑱ HDMI1 入力端子 (11 ページ)
- ⑲ HDMI2 入力端子 (11 ページ)
- ⑳ 拡張スロット

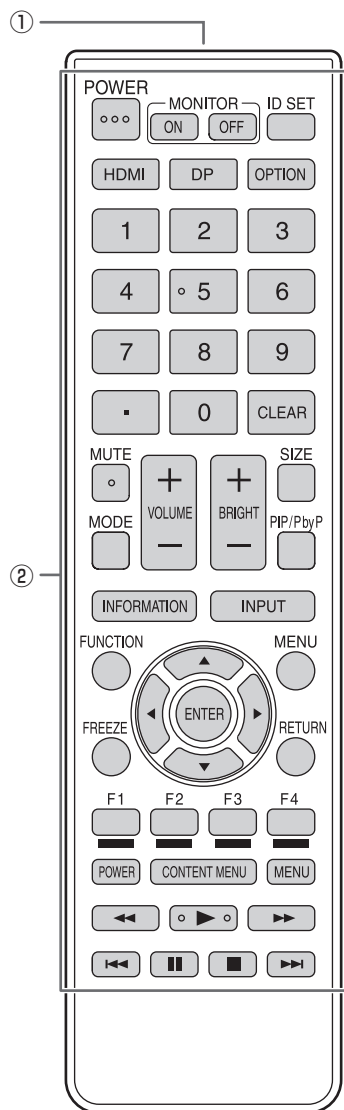
別売品を利用して、機能を拡張する際に利用します。(別売品の発売をお約束するものではありません。)

!ご注意

- 別売品の取り付け、取り外しは、お買いあげの販売店にご相談ください。

※ ファームアップデート用端子
通常は使用しません。

■ リモコン



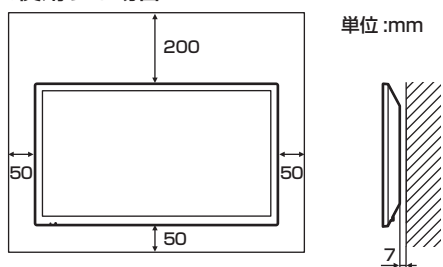
① 発信部

② 操作ボタン (17、18 ページ)

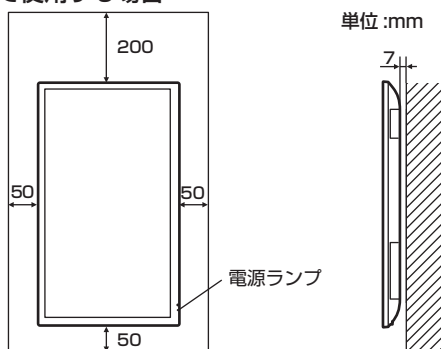
設置について

- 本機は屋内用です。
- 市販のスタンドや取り付け金具を使用する場合は、VESA規格に準拠したものを使用してください。
- 本機は重量がありますので、設置や取り外し、移動の際は買いあげの販売店にご相談ください。
- 本機を壁掛けや天吊りなどで使用する場合は、特別な技術による工事が必要です。工事は、専門の取り付け工事業者にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わないでください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
- 本機は水平面に対し垂直の状態で使用してください。傾ける場合は、上向き 20° までにしてください。
- 移動するときなどは、本体周辺部を持ってください。画面やトレイを持たないでください。破損や故障、けがの原因となることがあります。
- 本機は周囲温度 5℃～35℃の範囲内でご使用ください。熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。

横長で使用する場合

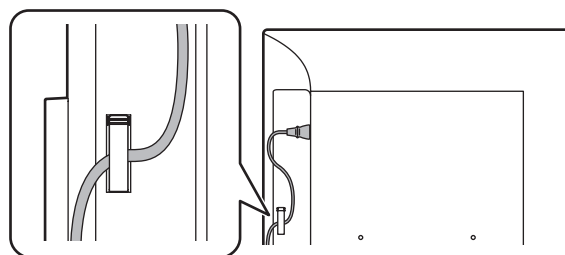


縦長で使用する場合

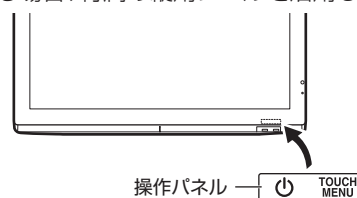


- ケースに入れて設置するなど空間の確保が困難な場合、周囲温度が 5℃～35℃を超える場合は、ファンを設けるなど、周囲温度が 5℃～35℃になるよう対処してください。
- 本機を複数台並べて設置する場合は、熱膨張によって隣接するディスプレイや構造物と押し付けあうことがないように、5mm 以上空けて設置してください。
- 通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因となることがあります。
- 発熱する機器の上に本機を置かないでください。

- 縦長で使用するときには、次のことをお守りください。故障の原因となることがあります。
 - 電源ランプを下側に設置してください。
 - モニターメニューの「縦/横設置」を「縦」にしてください。(27 ページ)
 - 電源コード(付属)は、必ず付属のケーブルクランプ(貼付式)で固定してください。固定するときは、電源コード(付属)の端子部分に力が加わらないようにしてください。また電源コード(付属)を無理に曲げないようにしてください。



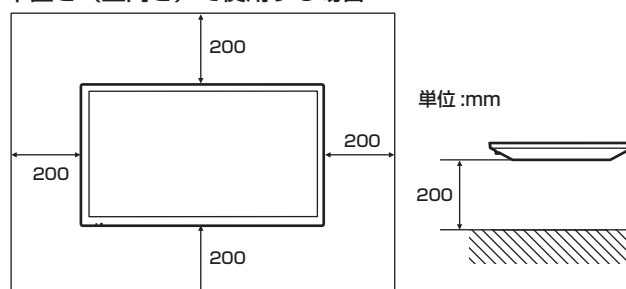
- 縦長で使用する場合、付属の縦用シールを活用してください。



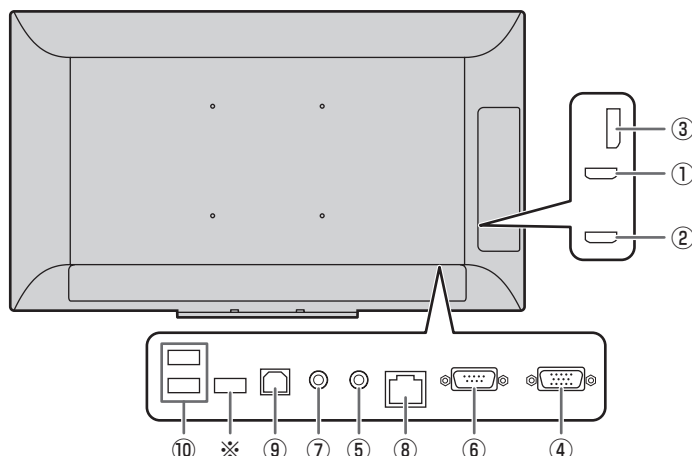
平置き設置について

- 本機を平置き(水平面に対し垂直の状態から上向き 20° を超えて傾ける場合)で使用するときには、お客様ご相談窓口(セットアップマニュアル)にご相談ください。平置きを設置条件があります。次のことをお守りください。故障の原因となることがあります。
 - モニターメニューの「水平設置」を「上向き」にしてください。(27 ページ)
 - 周囲温度 5℃～30℃の範囲内でご使用ください。熱がこもるのを防ぐため、床などの設置面や上下左右に 200mm 以上の周囲空間を確保ください。空間の確保が困難な場合、周囲温度 5℃～30℃を超える場合は、ファンを設けるなど、周囲温度が 5℃～30℃になるよう対処してください。
 - 液晶パネルを強く押ししたり、衝撃を与えたりしないでください。

平置き(上向き)で使用する場合



機器の接続



！ご注意

- 接続ケーブルの取り付け／取り外しは、主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
- 接続の際、入力端子と出力端子を間違えないように注意してください。誤動作や故障の原因となる場合があります。
- 端子が破損・変形したケーブルを使わないでください。無理に接続すると故障の原因となる場合があります。

ご参考

- タッチパネルを使用するときは、USB ケーブルをコンピューターに接続します。
- 接続するコンピューター（ビデオカード）によっては、正しく表示されないことがあります。
- 再生機器からスピーカーなどへ音声を直接出力した場合、本機の映像が音声から遅れる場合があります。再生機器と本機の音声入力端子、本機の音声出力端子とスピーカーなどを接続し、本機経由で音声を出力してください。
- 各入力モードで使用する音声入力端子は出荷時、下記のように設定されています。

入力モード	音声入力端子 (出荷時設定)
DisplayPort	DisplayPort 入力端子
HDMI1	HDMI1 入力端子
HDMI2	HDMI2 入力端子
D-SUB	音声入力端子
OPTION ※	拡張スロット

※ 拡張スロット利用での機能拡張時。

① HDMI1 入力端子

② HDMI2 入力端子

- 市販の HDMI ケーブル (HDMI 規格認証品) で接続します。
- 「音声調整」メニューの「音声設定」で使用する音声入力端子を選択してください。「HDMI1」または「HDMI2」の場合、音声入力端子への接続は不要です。

③ DisplayPort 入力端子

- 市販の DisplayPort ケーブル (DisplayPort 規格認証品) で接続します。
- 「音声調整」メニューの「音声設定」で使用する音声入力端子を選んでください。「DisplayPort」の場合、音声入力端子への接続は不要です。

④ D-sub 入力端子

- 市販の信号ケーブル (ミニ D-sub 15 ピン) で接続します。

⑤ 音声入力端子

- 市販の音声ケーブル (ミニステレオジャック) で接続します。音声ケーブルは抵抗がないものを使ってください。

⑥ RS-232C 入力端子

- 市販の RS-232C ストレートケーブルを使ってコンピューターに接続すると、本機をコンピューターから制御することができます。

⑦ 音声出力端子

- 本機に入力された音声出力されます。
- 市販の音声ケーブル (ミニステレオジャック) で接続します。
- 出力される音声は、入力モードにより異なります。
- 音量調整で音量が調整できます。

⑧ LAN 端子

- 市販の LAN ケーブルを使ってネットワークに接続すると、本機をネットワーク上のコンピューターから制御することができます。

機器の接続

⑨ USB 端子 (タッチパネル用)

- タッチパネルを使用するとき、付属のUSB ケーブルを使ってコンピューターに接続します。

⑩ USB 端子

- USB 端子 (タッチパネル用) に接続したコンピューターのUSB ハブ (USB2.0 準拠) として使用することができます。
- 本体の電源が「入」のとき、USB 電源供給を行うことができます。「タッチによる画面復帰」が「する」のときは、入力信号待機状態のときも USB 電源供給を行うことができます。
- 拡張スロットで機能を拡張しているとき、入力モードをOPTION にすると、拡張スロットの機器でUSB 機器を使用することができます。(「USB 接続切替」が「外部」以外のとき) このとき、USB 端子 (タッチパネル用) に接続したコンピューターでUSB 機器を使用することはできません。

※ ファームアップデート用端子
通常は使用しません。

! ご注意

USB ストレージデバイス (USB メモリーや USB ハードディスクなど) 使用時の注意事項

- 本体設定メニューの「USB 接続切替」が「自動」の場合、入力モードをOPTION に変更したとき、USB やタッチパネルの接続が拡張スロットの機器に変わります。入力モードをOPTION から変更したとき、USB やタッチパネルの接続が本機に変わります。
- USB ストレージデバイスのアクセス中に接続切替が行われると、データが破損する場合があります。USB ストレージデバイスを接続するときは、接続した機器に合わせて、「USB 接続切替」を「外部」または「OPTION」に設定し、接続を固定してください。または、「手動」に設定し、入力モードを変更したあと、USB ストレージデバイスがアクセス中でないことを確認したうえで、手動で接続切替してください。

電源の接続

! ご注意

- 電源コードは必ず付属または指定のものを使用してください。



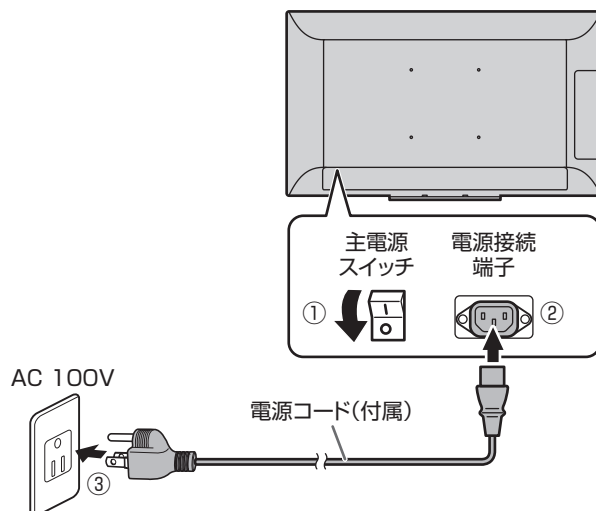
アースを接続する。

アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。

電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。

付属の電源コードはAC100V用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

1. 主電源スイッチを「切」にする。
2. 電源コード (付属) を電源接続端子に差し込む。
3. 電源コード (付属) のプラグをコンセントに差し込む。

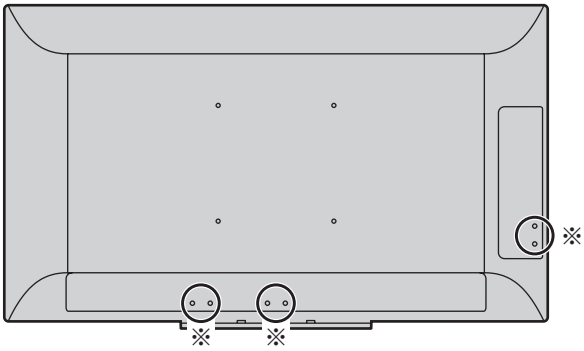


ご参考

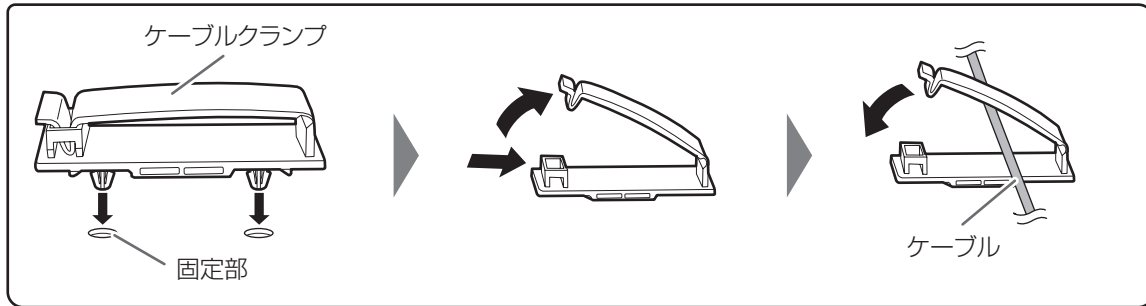
- AC200V (50/60Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。

ケーブル処理のしかた

ディスプレイに接続したケーブルは、付属のケーブルクランプで固定することができます。



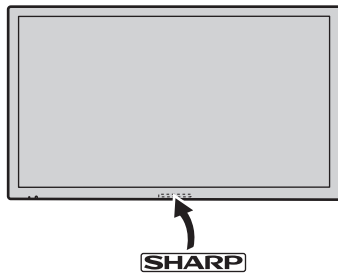
※



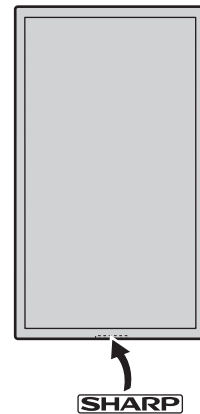
ロゴシールの貼りかた

付属のロゴシールを本機に貼ることができます。

横置きの場合

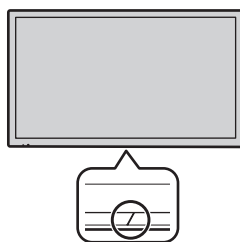


縦置きの場合



ご参考

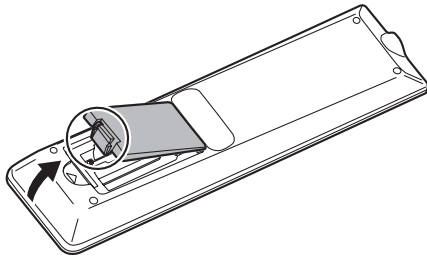
- ・ トレーを取り付けていない場合、下面にセンターの目印があります。



リモコンの準備

電池の入れかた

1. ▲部に指をかけ、カバーを引き上げる。



2. 乾電池（単4形×2本）をリモコンに入れる。

リモコン内部の表示に従って、プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れてください。

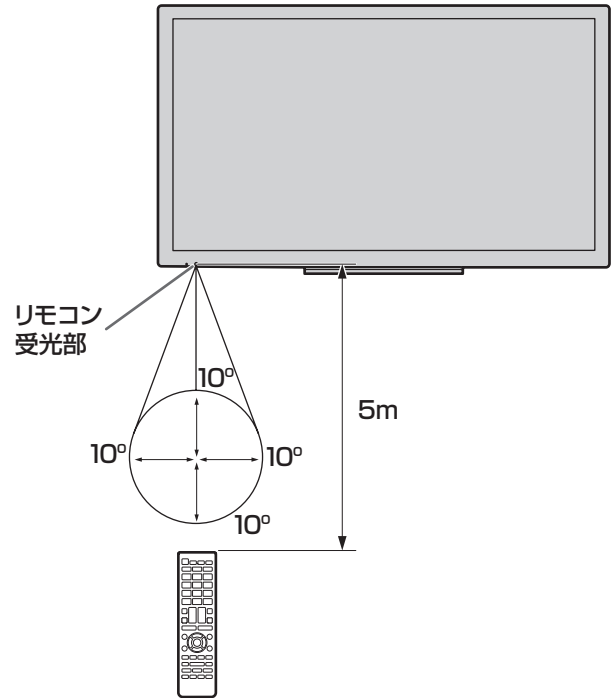
3. カバーを元に戻す。

ご参考

- 電池が消耗したときは、早めに新しい乾電池（市販品）と交換してください。
- 乾電池（単4形×2本）は保管状態により短期間で消耗することがあります。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から約5m、上下左右に約10°以内です。

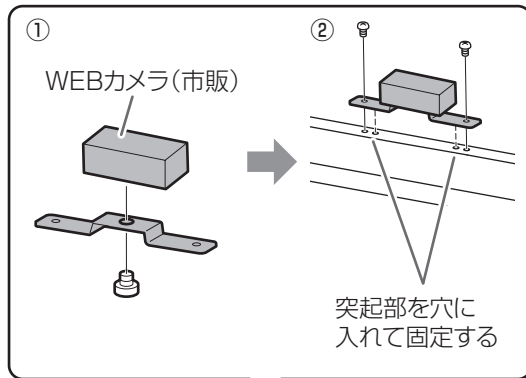


ご参考

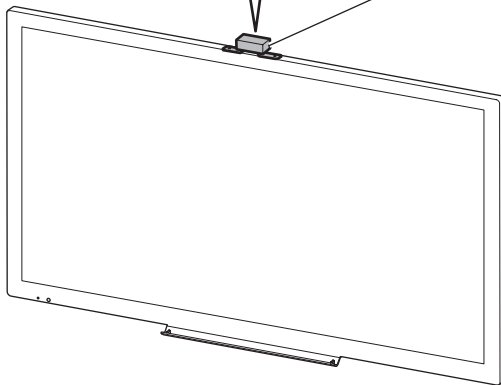
- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

WEB カメラの付けかた

市販のWEBカメラを付けることができます。

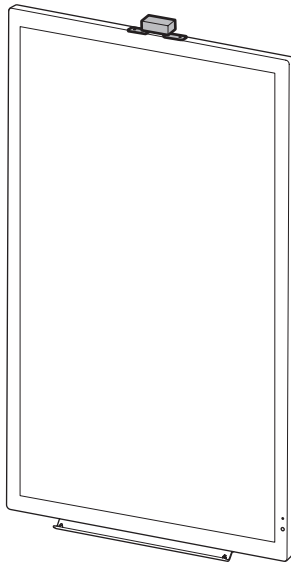


横置きの場合



- ① 付属のカメラマウントに、付属のカメラ取付ネジ（インチネジ）（1 個）で市販のWEBカメラを付ける。
- ② 付属のカメラマウントを付属のカメラマウント取付ネジ（2 個）で付ける。

縦置きの場合

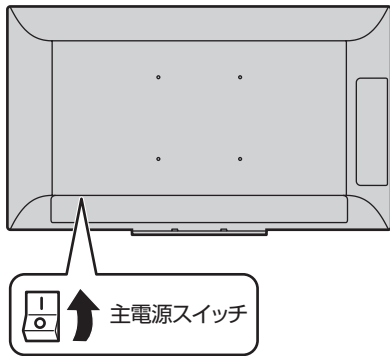


電源の入／切をする

！ご注意

- すべての接続を終えてから、電源を入れてください。
- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。
- 電源の切／入は、必ず約 5 秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

主電源を入れる



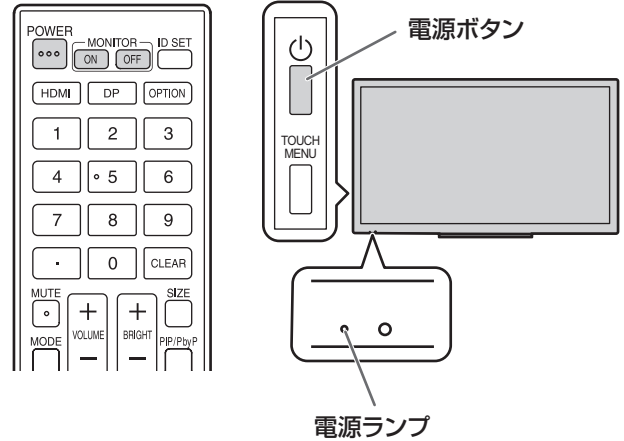
！ご注意

- 主電源の切／入は、主電源スイッチで行ってください。主電源「入」の状態での電源コードの抜き差しや、プレーカーの切／入などは行わないでください。

電源を入れる / 切る

リモコンまたは本体の POWER (電源) ボタンを押すたびに、電源を入／切することができます。

リモコンの MONITOR ON ボタンで電源入、MONITOR OFF ボタンで電源切することもできます。



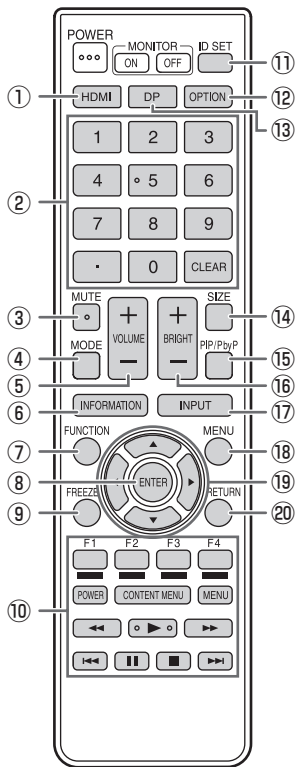
電源ランプの状態	本機の状態
緑色点灯	電源「入」
オレンジ色点灯	電源「切」(電源待機状態)
緑色点滅	入力信号待機状態

ご参考

- 主電源が「切」の場合、電源を入れることはできません。
- 入力信号待機状態のときに POWER (電源) ボタンを押すと、電源待機状態になります。
- 電源を入れたときのロゴを表示しない場合は、その他メニューの「ロゴ画面」を「しない」にしてください。(28 ページ)

基本的な操作

リモコン



① HDMI

入力モードを HDMI1 または HDMI2 に変えます。

② 数字入力ボタン

本機では使用しません。

③ MUTE(消音)

音声を一時的に消します。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

④ MODE(カラーモード切換)

押すたびに以下の順でカラーモードを切り換えます。

標準 (PC) → 高照度カラー → AV → ユーザー →
標準 (PC) …

- 高照度カラーとは、周囲が明るい場所に適した色合いでの表示になります。

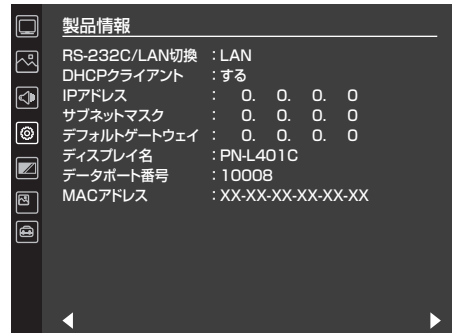
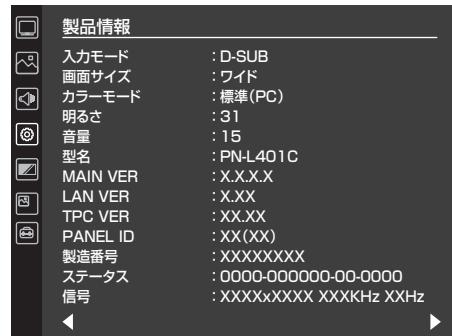
⑤ VOLUME + / - (音量調整)

+ や - を押すと音量メニューが表示され、音量を調整します。

※ 音量メニューを表示したあと、約 3 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

⑥ INFORMATION(製品情報)

ディスプレイの情報を確認することができます。

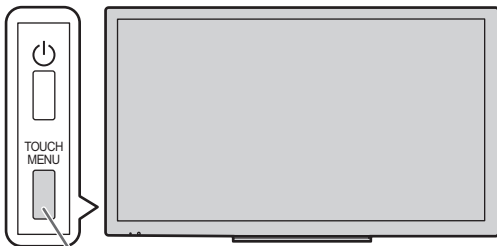


ボタンを押すたびに、製品情報 1 → 製品情報 2 → 製品情報 3 → 表示消去…と変わります。

MENU ボタンを押すと、表示は消えます。

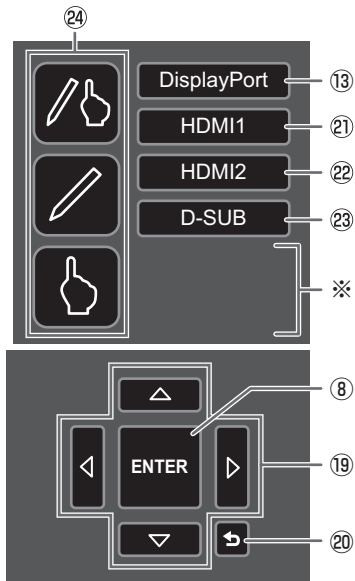
- 製品情報 3 は、拡張スロット利用での機能拡張時の情報を表示します。
- 約 60 秒経過すると、表示は自動的に消えます。

本機のボタン



TOUCH MENUボタン

TOUCH MENU ボタンを押すと画面にタッチメニューが表示されます。



※ 拡張スロットで機能拡張時、入力を変えるボタンが表示されます。

基本的な操作

⑦ FUNCTION (機能)

本機では使用しません。

⑧ ENTER (実行)

設定を確認します。

⑨ FREEZE

ディスプレイに表示されている映像を静止して表示します。
MUTE ボタン、VOLUME ボタン以外のボタンを押すと、解除されます。

⑩ HDMI 接続機器操作ボタン

本機では使用しません。

⑪ ID SET

本機では使用しません。

⑫ OPTION

入力モードを OPTION に変えます。

⑬ DP (DisplayPort)

入力モードを DisplayPort に変えます。

⑭ SIZE(画面サイズ切換)

メニューが表示されます。▲▼ボタンで画面サイズを選びます。(19 ページ)

⑮ PIP/PbyP

ボタンを押すたびに「PIP モード」を、しない→PIP→PbyP→しない…と変えます。

⑯ BRIGHT +/-(明るさ調整)

+や-を押すと明るさメニューが表示され、明るさを調整します。

※ 明るさメニューを表示したあと、約 3 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

⑰ INPUT (入力切換)

メニューが表示されます。▲▼ボタンで入力モードを選び、ENTER ボタンで決定します。

入力モード	映像	音声
DisplayPort	DisplayPort 入力端子	※ 2
HDMI1	HDMI1 入力端子	
HDMI2	HDMI2 入力端子	
D-SUB	D-sub 入力端子	音声入力端子
OPTION ※ 1	拡張スロット	※ 2

※ 1 拡張スロット利用での機能拡張時に表示されます。

※ 2 「音声調整」メニューの「音声設定」で音声を入力する端子を選びます。(26 ページ)

⑱ MENU(メニュー表示)

メニューが表示されます。

メニューについて詳しくは 24 ページを参照してください。

⑲ カーソル

項目選択、調整値変更、カーソル移動などに使用します。

⑳ RETURN (戻る)

前の画面に戻ります。

㉑ HDMI1

入力モードを HDMI1 に変えます。

㉒ HDMI2

入力モードを HDMI2 に変えます。

㉓ D-Sub

入力モードを D-SUB に変えます。

㉔ タッチモード選択



タッチモードを変更します。(20 ページ)



■ USB/ タッチパネルの接続切替について



・入力モードを OPTION に変更したとき、または OPTION から変更したときの USB やタッチパネルの接続切替は、本体設定メニューの「USB 接続切替」の設定により異なります。

・「自動」の場合、接続はそれぞれ拡張スロットの機器、本機に変わります。

・「外部」/「OPTION」の場合、接続は本機/拡張スロットの機器に固定され、変わりません。

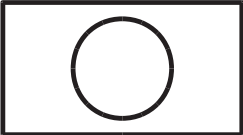
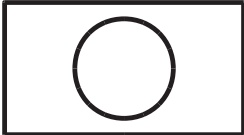
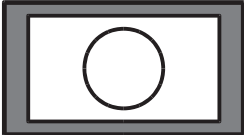
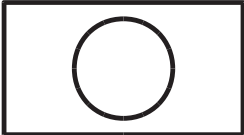

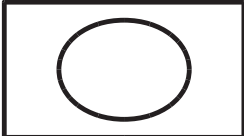
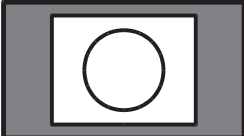

・「手動」の場合、入力を変えると  () が表示されます。(約 5 秒間)

 () をタッチすると接続が変わります。USB ストレージデバイスをお使いの場合は、アクセス中でないことを確認したうえで、切り替えてください。

 () が消えた場合は、画面をタッチすると表示されます。

■ 画面サイズ切替について

入力信号によっては、画面サイズを変更しても表示が変わらない場合があります。

入力信号	ワイド	Dot by Dot	ノーマル
16 : 9 映像  1920 × 1080、 1280 × 720 など	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度ごとのパネル画素数で映します。	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。
16 : 9 以外の映像  640 × 480、 800 × 600、 1024 × 768、 1280 × 1024 など	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度ごとのパネル画素数で映します。	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。

ご参考

- ・ 営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切替機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- ・ オリジナル映像（外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像）の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ・ 4 : 3 の映像を、画面サイズ切替機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- ・ 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切替機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- ・ オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が残る場合があります。

タッチ操作

タッチモードについて

指の操作を禁止したり、ペンの操作を禁止したりすることができます。



指・ペンモード

指、ペンの両方が使用できます。
「イレーザ機能」が「しない」のとき、イレーザ機能（23 ページ）は使用できません。



「イレーザ機能」が「する」のとき、イレーザ機能（23 ページ）が使用できます。
(アイコンに消しゴムが表示されます。)



ペン専用モード

ペンが使用できます。
指は使用できません。
イレーザ機能（23 ページ）は使用できません。



指専用モード

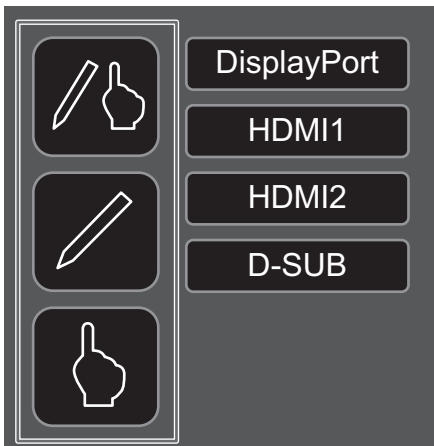
指が使用できます。
ペンは使用できません。
イレーザ機能（23 ページ）は使用できません。

1. TOUCH MENU ボタンを押す。



TOUCH MENUボタン

2. タッチモードをタッチする。



タッチ操作

本機で使用できるタッチ操作は、OS やアプリケーションにより異なります。また、そのタッチ操作による働きも異なります。詳しくは、Windows のヘルプやアプリケーションの説明書でご確認ください。

OS	Windows 8.1/10	Windows 7
タッチ操作		
シングルタップ	○	○
ダブルタップ	○	○
スワイプ	○	○
画面端からのスワイプ	○	×
ドラッグアンドドロップ	○	○
フリック	○	○
プレスアンドホールド	○	○
スライド/パン	○	○
ズーム	○	○
プレスアンドタップ	×	○
ローテート	○	○

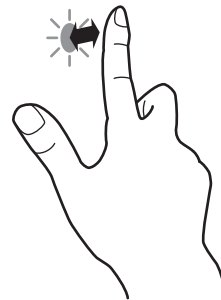
ご参考

- Windows 7 でコントロールパネルの「ペンとタッチ」の「マルチタッチジェスチャとインクを有効にする」のチェックが外れている場合は、チェックしてください。
- ペンソフトでのタッチペンの使いかたは、ペンソフト取扱説明書をご覧ください。
- 下記での使用を推奨します。
下記以外では、タッチがずれる場合があります。
入力信号 : 1920 x 1080
画面サイズ : Dot by Dot

指/タッチペン共通の操作

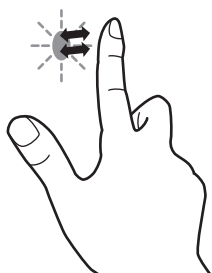
シングルタップ

マウスの左クリックとして動作します。
指/タッチペンでタッチしてください。



ダブルタップ

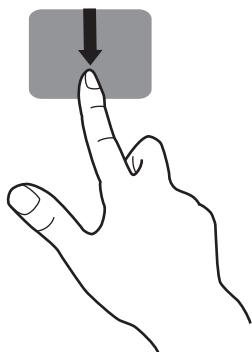
マウスのダブルクリックとして動作します。
指/タッチペンで素早く2回タッチしてください。



指でダブルタップするときは、1度目のタッチのあと、指を画面から十分に離してください。距離が十分でない場合、ダブルタップできません。

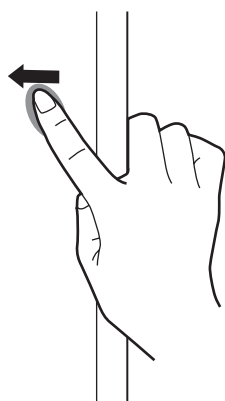
スワイプ

指/タッチペンで触れたあと、離さないまま移動し止めます。



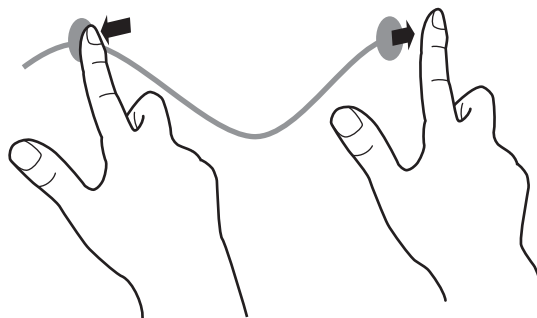
画面端からのスワイプ

画面端を指/タッチペンで触れたあと、離さないまま横に移動し止めます。



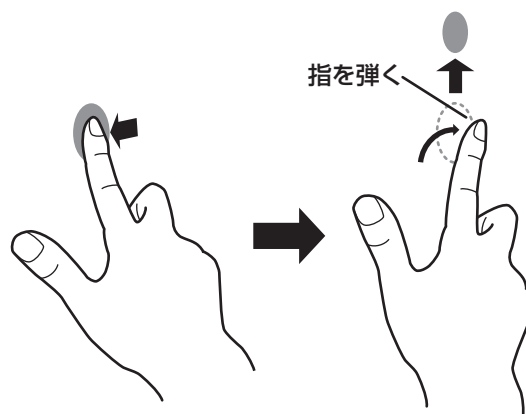
ドラッグアンドドロップ

マウスのドラッグアンドドロップとして動作します。
指/タッチペンで触れたあと、離さないまま移動します。移動が完了すると、指/ペンを離します。



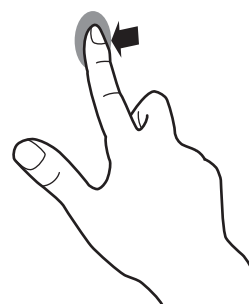
フリック

指/タッチペンを行いたい機能がある方向へ弾くように移動させます。



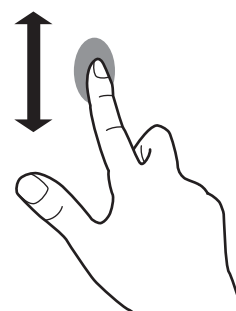
プレスアンドホールド

マウスの右クリックとして動作します。
指/タッチペンをしばらく押さえてから、指/タッチペンを離します。



スライド/パン

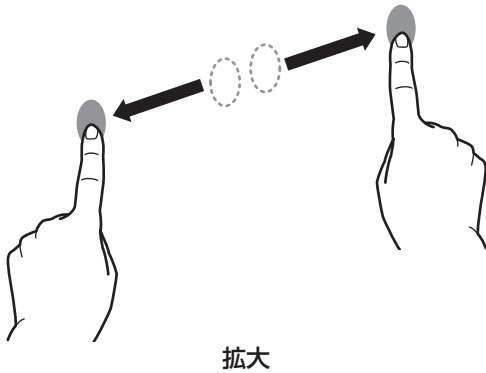
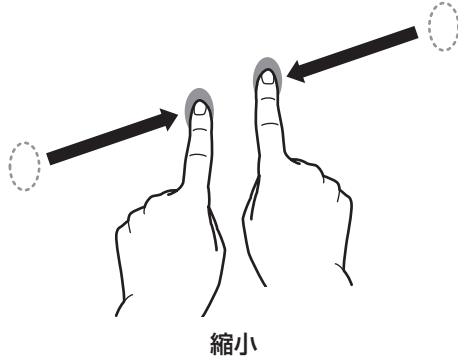
指/タッチペンを触れたまま動かし、画面をスクロールさせます。



■ 指の操作

ズーム

拡大／縮小ができる画面で使います。
2本の指で画面に触れ、そのまま2本の指を近づけると、画面が縮小します。離すと画面を拡大します。



プレスアンドタップ

マウスの右クリックとして動作します。
1本の指で画面に触れたまま、もう1本の指で画面をシングルタップします。



ローテート

回転表示ができる画面で使います。
回転する中心点を1本の指で触れます。その指はそのまま動かさず、もう1本の指で回転させる方向に指を動かします。



ご参考

- 以下の場合、正しく動作しない場合があります。
 - タッチ動作が素早いとき
 - 2点間の距離が小さいとき
 - 2点が交差するとき
- タッチペンで操作することはできません。

その他の機能について

Windows 8.1/10 では、入力パネルの機能が使えます。
Windows 7 では、タッチポインター、入力パネルの機能が使えます。
それぞれの機能については、Windows のヘルプを参照してください。

タッチポインター：

タッチした付近にマウスのような半透明の画像が表示されます。その画像の左／右ボタンをクリックすると、マウスの左／右クリックと同じ動きをします。

入力パネル：

画面上にソフトウェアキーボードと手書き認識を持つ入力パネルが表示されます。

Windows 7 (Starter は除く) /8.1/10 で Microsoft Office のインク機能を利用することができます。
手書きのコメントを書いたり、手書き認識をすることができます。
詳細は、Microsoft Office のヘルプを参照してください。

使用上のご注意

- 指でタッチするときは、以下の点にご注意ください。
 - 濡れた指でタッチしないでください。
 - 指の腹でタッチしてください。
 - 素手でタッチしてください。
手袋をしていると反応しません。
- タッチペンは、タッチパネルの操作以外に使用しないでください。
- ペン先を強く押さえないでください。
- ペン先が消耗・破損したときは、タッチペンを交換してください。タッチペンの購入については、お買いあげの販売店にご相談ください。
- インバーター蛍光灯が近くにある場合、正しく動作しない場合があります。
- タッチペンのペン先に汚れや異物が付いている場合は、取り除いてください。画面が傷つく原因となります。
- ログイン時の画面でペンの位置がずれる場合があります。その場合は、キーボードやマウス等で操作してください。
- USB ケーブルが抜けた場合、USB ケーブルを接続し直してもタッチパネルが正しく動作しない場合があります。その場合は、コンピューターを再起動してください。

イレーザーについて

ペンソフトでは、5本の指で触れた範囲の大きさで、描画を消すことができます。

- ①「イレーザー機能」を「する」にする。(28 ページ)
- ②「指・ペン」モード (20 ページ) にする。
- ③ 5本指で画面に触れ、カーソルが消しゴムに変わったら、指を移動させる。

ペンソフト取扱説明書も併せてご覧ください。



各種設定メニュー

メニューの基本操作

映像・音声などの調整や各種機能の設定をすることができます。ここではメニューの使いかたについて説明します。各項目の詳細は、25～28ページをご覧ください。

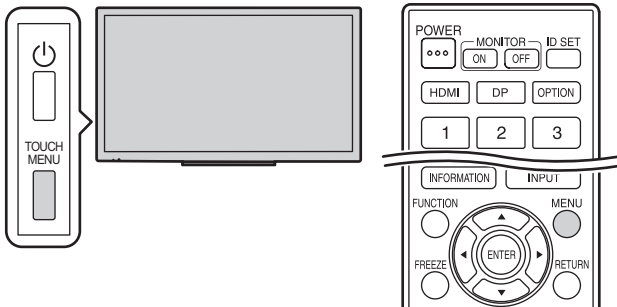
！ご注意

- メニューなどの表示中に、主電源スイッチを「切」にしないでください。設定内容が初期化される場合があります。

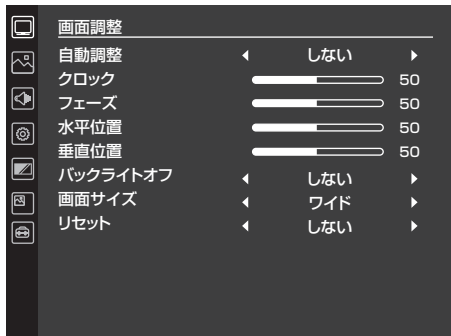
■ 操作例

(「映像調整」メニューの「コントラスト」を調整する。)

1. TOUCH MENU ボタンまたは MENU ボタンを押す。

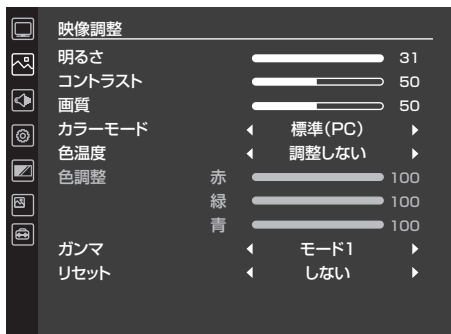


メニュー画面が表示されます。

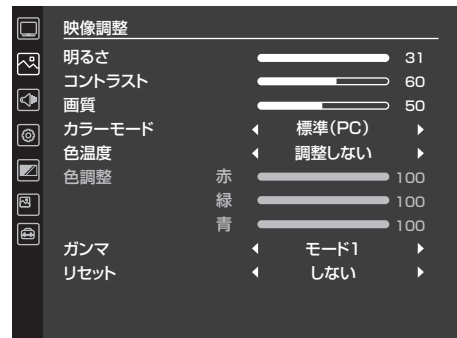


2. ▲▼ボタンで「映像調整」メニューを選び、ENTER ボタンを押す。

3. ▲▼ボタンで設定項目（「コントラスト」）を選ぶ。



4. ◀▶ボタンで設定を調整する。



5. TOUCH MENU ボタンまたは MENU ボタンを押す。

メニュー画面が閉じます。

ご参考

- メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

メニュー項目の詳細

メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

■ 画面調整 (□)

自動調整 (D-SUB)

現在入力されている映像信号を使って、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」を自動的に調整します。

クロック (D-SUB)

該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。

縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。

調整用パターン (29 ページ) を利用するときは、調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整してください。

フェーズ (D-SUB)

該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。細かな文字などを出したときにコントラストがつかなくなったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。調整用パターン (29 ページ) を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。

※「フェーズ」の調整は、「クロック」を正しく調整したあと行ってください。

水平位置

映像の左右の位置を調整します。

垂直位置

映像の上下の位置を調整します。

バックライトオフ

バックライトを消灯します。音声は消えません。

画面サイズ

画面サイズを選びます。(19 ページ)

リセット

画面調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

「する」を選び、ENTER ボタンを押してください。

各種設定メニュー

■ 映像調整 (🖥️)

明るさ

バックライトの明るさを調整します。リモコンで調整することもできます。(18 ページ)

コントラスト

映像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。

画質

画像のシャープさを調整します。

カラーモード

画面のカラーモードを切り換えます。リモコンで切り換えることもできます。(17 ページ)

色温度

調整しない 入力信号レベルをそのまま表示します。「明るさ」が最大のとき、輝度が最大になります。

ユーザー 赤成分、緑成分、青成分のそれぞれを「色調整」で調整します。

6500K/9300K ... 設定値は目安です。画面の色温度は経年により変わります。一定の色温度を維持するものではありません。

色調整

「色温度」が「ユーザー」のとき調整します。ENTER ボタンを押してから調整します。

赤 赤成分を調整します。

緑 緑成分を調整します。

青 青成分を調整します。

ガンマ

ガンマを選択します。

RGB 入力レンジ (HDMI/DisplayPort/OPTION)

RGB 入力信号のレンジを設定します。

HDMI、DisplayPort、OPTION のとき「自動」にすると、自動的に設定します。通常は、「自動」でお使いください。

「自動」で正しく設定できない場合は、映像に合わせて設定してください。設定が異なると、黒が浮いたり、階調がつぶれたりして表示されます。

リセット

映像調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

「する」を選び、ENTER ボタンを押してください。

■ 音声調整 (🔊)

音量

音量を調整することができます。リモコンで調整することもできます。(17 ページ)

音声出力

音声出力端子から出力される音量について設定します。

可変 1 ... 音量調整で、本機のスピーカーと音声出力端子の音量を同時に調整します。

可変 2 ... 音量調整で、音声出力端子の音量を調整します。

本機のスピーカーから音声は出力されません。

FREEZE 消音

FREEZE 時に音声を消すかどうかを設定します。

音声設定 (HDMI/DisplayPort/OPTION)

各入力モードで音声を入力する端子を選びます。

リセット

音声調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

「する」を選び、ENTER ボタンを押してください。

■ 本体設定 (🔧)

言語選択

メニュー画面の表示言語を設定します。

RS-232C/LAN 切換

コンピューターから本機を制御するときの方法を選びます。

通信速度

RS-232C で通信するときの通信速度を選びます。

LAN 設定

コンピューターから LAN 経由で本機を制御するための設定を行います。(35 ページ)

USB 接続切替

入力モードを OPTION に変更したとき、または OPTION から変更したときの USB やタッチパネルの接続について設定します。

自動 入力モードの変更に合わせて、接続が自動的に変わります。

外部 USB やタッチパネルの接続は本機に固定されます。

拡張スロットの機器でタッチパネルや USB 機器を使用することはできません。

OPTION USB やタッチパネルの接続は拡張スロットの機器に固定されます。

本機でタッチパネルや USB 機器を使用することはできません。

手動 入力を変えると  () が表示されます。(約 5 秒間)



製品情報

ディスプレイの情報を確認することができます。(17 ページ)

オールリセット

すべての設定を工場出荷時に戻します。実行後に映像が乱れる場合、主電源の切/入を行ってください。

■ モニター (📺)

縦 / 横設置

横 横長

縦 縦長

水平設置

しない 縦長 / 横長設置

上向き 表示画面が上向き

OSD 画面水平位置

メニュー画面の水平表示位置を調整します。

OSD 画面垂直位置

メニュー画面の垂直表示位置を調整します。

パワーセーブモード

「しない」にすると電源待機状態からの起動時間が短くなります。ただし、電源待機時の消費電力が増えます。

「する」にすると電源待機時の消費電力を減らすことができます。ただし、電源待機状態からの起動時間が長くなります。

無操作オフ

リモコン、RS-232C コマンド、LAN からの操作が 4 時間以上ない場合に、電源待機状態に移行するかどうかを設定します。

各種設定メニュー

■ PIP (画)

PIP モード

表示のしかたを設定します。

しない..... 1 画面で表示します。

PIP.....メイン画面内にサブ画面を表示します。

PbyP.....メイン画面とサブ画面を並べて表示します。

PIP サブ画面サイズ

PIP モードのとき、サブ画面の大きさを設定します。

PIP サブ画面位置

PIP モードのとき、サブ画面の位置を設定します。

サブ画面入力信号

PIP、PbyP モードのとき、サブ画面の入力信号を切り換えます。

音声選択

PIP、PbyP モードのときに出力される音声を設定します。

リセット

PIP メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

「する」を選び、ENTER ボタンを押してください。

■ その他 (画)

パワーマネージメント

無信号状態で入力信号待機状態に切り換えるかどうかを設定します。

無信号検出時自動入力切換

自動入力切換をするかどうかを設定します。「する」にすると、現在選択している入力モードが無信号になったとき、映像信号が入力されている別の入力モードへ自動的に変わります。

ロゴ画面

起動時にロゴ画面を表示するかどうかを設定します。

イレーザー機能

イレーザー機能 (23 ページ) を使用するかどうかを設定します。

タッチによる画面復帰

入力信号待機状態で画面をタッチしたときに、画面復帰するかどうかを設定します。

しない.....画面復帰しません。

する.....画面復帰します。ただし、入力信号待機状態の消費電力が増えます。

OPTION

拡張スロットを使用するかどうかを設定します。

本体ロック

本体やリモコンによるボタン操作を禁止することができます。

しない.....操作可能

リモコン.....リモコン操作を禁止

本体ボタン.....本体ボタン操作を禁止

リモコン & 本体ボタン.....本体ボタンおよびリモコン操作を禁止

ロックを解除するときは、下記操作を行ってください。

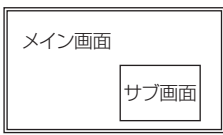

① 画面左上に「F」が表示されるまで、SIZE ボタンを押す。

② 「F」が表示されている間に ▲▼◀▶ ボタンを押す。

■ 2画面表示について

2画面同時に表示することができます。

PIPメニューの「PIPモード」で設定します。

PIP		メイン画面内にサブ画面を表示します。
PbyP		メイン画面とサブ画面を並べて表示します。

※ 現在選択している入力信号がメイン画面になります。

ご参考

- ・ 営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、コンピューター画面とテレビやビデオ映像などを同時に表示させると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。ご注意ください。
- ・ 2画面表示時の画面サイズは、1画面表示時の画面サイズになります。ただし、Dot by Dotの画面は、PIPのメイン画面を除き「ノーマル」になります。
- ・ 2画面表示時、無信号検出時自動入力切替は動作しません。
- ・ 2画面表示時、「音声調整」を設定することはできません。
- ・ サブ画面にインターレース信号（1080i、480i、ビデオ）を入力した場合、横線がちらつくことがあります。その場合は、メイン画面に表示してください。
- ・ サブ画面ではタッチ操作はできません。
- ・ PbyP時はタッチがずれます。

コンピューター画面の調整について

■ 自動調整

「D-SUB」でコンピューターの画面を初めて表示するときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、画面の自動調整を行ってください。

1. 入力を「D-SUB」に切り換え、調整用パターンを表示する。（下記）
2. TOUCH MENU ボタンまたは MENU ボタンを押す。メニュー画面が表示されます。
3. ▲ ▼ボタンで「画面調整」メニューを選び、ENTER ボタンを押す。
4. ▲ ▼ボタンで「自動調整」を選ぶ。
5. ◀ ▶ボタンで「する」を選び、ENTER ボタンを押す。数秒後に自動調整が完了します。

ご参考

- ・ 1回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を2～3回繰り返してみてください。さらに必要に応じて、手動で微調整を行ってください。

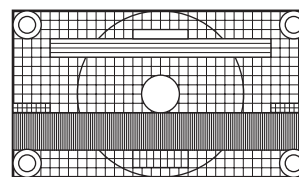
■ 調整時の画面表示

画質や映像を調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。Windows をお使いの場合は、CD-ROM（付属）内の調整用パターンを利用してください。

調整用パターンの表示

Windows 7 を例に説明します。

1. CD-ROM（付属）をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「コンピューター」の CD-ROM を開く。
3. 「Monitor」フォルダーの「Adj_uty.exe」をダブルクリックする。
調整用パターンが表示されます。



4. 調整が終わったら、コンピューターの [Esc] キーを押す。調整用パターンが消えます。
5. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

ご参考

- ・ 使用するコンピューターの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。（入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。）

コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

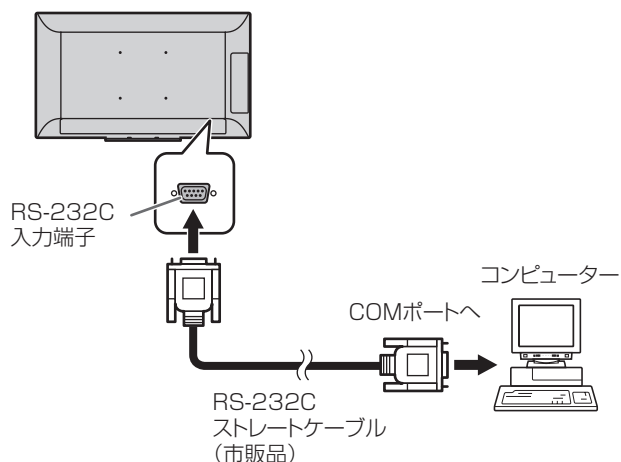
コンピューターのRS-232C (COMポート) を利用して、コンピューターから本機を制御することができます。

ご参考

- RS-232C で制御するときは、「RS-232C/LAN 切換」を「RS-232C」に設定してください。
- RS-232C と LAN の制御を同時に行うことはできません。

接続のしかた

コンピューターのCOMポート (RS-232C コネクタ) と本機のRS-232C 入力端子をRS-232C ケーブル (ストレート) で接続します。



通信仕様

コンピューター側のRS-232C 通信仕様を次のように設定してください。

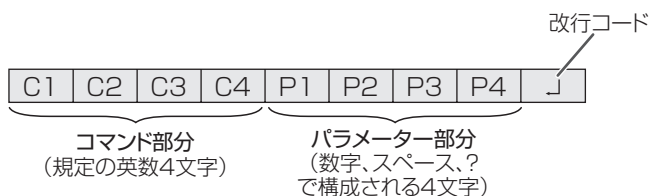
ボーレート	※	ストップビット	1ビット
データ長	8ビット	フロー制御	なし
パリティ	なし		

※ 本体設定メニューの「通信速度」の設定に合わせてください。(初期設定は 38400bps)

通信手順

■ コマンド

コンピューターから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



[例] VOLM0030
VOLM_ _ _ 30

- ※ パラメーター部分が4文字に足りない場合は、スペース (「_」) で4文字になるように調整してください。
(「□」は改行コード (ODH, OAH または ODH))
× VOLM30 □
○ VOLM_ _ _ 30 □

パラメーター部分が5文字以上の場合は、スペースを使用せず、指定の文字数でパラメーターを指定してください。

[例] TCPP01025

RS-232C コマンド一覧表 (32 ページ) の中で、「方向」に「R」と入っているコマンドについては、「?」をパラメーターにすることにより、現在の設定値を返します。

[例]
VOLM ? ? ? ? ← コンピューターから本機へ
(現在の音量設定値は?)
30 ← 本機からコンピューターへ
(設定値: 30)

RS-232C コマンド一覧表

コマンド一覧表の見かた

コマンド： コマンド部分 (30 ページ)

方向： W 「パラメーター」をパラメーター部分 (30 ページ) に設定して使用することにより、「制御/返信内容」に書かれたように機能します。

R パラメーター部分 (30 ページ) に「????」または「____?」を使用することにより、「返信」に示す返り値が得られます。

パラメーター： パラメーター部分 (引数) (30 ページ)

返信： レスポンス (返り値)

電源制御/入力切換

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行
			1		電源「入」状態へ移行
		R	0		電源待機状態
			1		通常動作状態
			2		信号入力待機状態
入力切換	INPS	W	0		トグルで入力切換。「端子設定」で非選択の端子は選べません。
			2		D-SUB
			10		HDMI1
			13		HDMI2
			14		DisplayPort
			21		OPTION
		R	2		D-SUB
			10		HDMI1
			13		HDMI2
			14		DisplayPort
			21		OPTION

画面調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容
画面サイズ	WIDE	WR	1	1	ワイド
			3	3	Dot by Dot
			6	6	ノーマル

映像調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容
明るさ	VLMP	WR	0 ~ 31	0 ~ 31	
カラーモード	BMOD	WR	0	0	標準 (PC)
			4	4	高照度カラー
			9	9	AV
			10	10	ユーザー

コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

音声調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
音量	VOLM	WR	0～31	0～31	

本体設定メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	
RS-232C/LAN 切換	CTLS	WR	0～1	0～1	0：RS-232C、1：LAN	
LAN 設定	DHCP クライアント	DHCP	WR	0～1	0～1	0：しない、1：する ※ NTUP で本機に設定を反映してください。
	IP アドレス	IPAD	WR	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	X：数値のみ、3桁に満たない場合は、0で埋めて3桁にする。 例) 192168150001 ※ NTUP で本機に設定を反映してください。
	サブネットマスク	SBMK	WR	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	X：数値のみ、3桁に満たない場合は、0で埋めて3桁にする。 例) 255255255000 ※ NTUP で本機に設定を反映してください。
	デフォルトゲートウェイ	DFGW	WR	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	X：数値のみ、3桁に満たない場合は、0で埋めて3桁にする。 例) 000000000000 ※ NTUP で本機に設定を反映してください。
	ユーザー名	USER	WR	XXXXXXXX	XXXXXXXX	本機に LAN で接続するときのユーザー名を設定します。 X：8文字以下で半角英数字と「-」と「_」。 (空欄は可、スペースは不可)
	パスワード	PASS	WR	XXXXXXXX	XXXXXXXX	本機に LAN で接続するときのパスワードを設定します。 X：8文字以下で半角英数字と「-」と「_」。 (空欄は可、スペースは不可)
	ディスプレイ名	MNTR	WR	XXXXXXXX XXXXXXXX	XXXXXXXX XXXXXXXX	X：16文字以下で半角英数字と「-」と「_」。 (空欄は可、スペースは不可)
	自動ログアウト時間	LOTM	WR	00000～65535	00000～65535	ディスプレイがネットワーク接続を自動的に切断するまでの時間を分単位で設定します。
データポート番号	TGPP	WR	01025～65535	01025～65535	データ通信用の TCP ポート番号を設定します。 ※ NTUP で本機に設定を反映してください。	
LAN 設定の反映	NTUP	W	1	1	DHCP クライアント/IP アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/データポート番号の設定を本機に反映する。	
オールリセット	RSET	W	1		1：オールリセット	

モニターメニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
縦 / 横設置	STDR	WR	0～1	0～1	0：横長設置、1：縦長設置
水平設置	MLAY	WR	0～1	0～1	0：しない、1：上向き設置

PIP メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
PIP モード	MWIN	WR	0～2	0～2	0：しない、1：PIP、2：PbyP
PIP サブ画面サイズ	MPSZ	WR	0～2	0～2	0：小、1：中、2：大
PIP サブ画面位置	MWPS	WR	0～3	0～3	0：右上、1：左上、2：右下、3：左下
サブ画面入力信号	MWIP	WR	2	2	D-SUB
			10	10	HDMI1
			13	13	HDMI2
			14	14	DisplayPort
			21	21	OPTION
音声選択	MWAD	WR	1～2	1～2	1：メイン画面、2：サブ画面
PIP 設定初期化	RPIP	W	1		

その他メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
本体ロック	ALTG	WR	0～3	0～3	0：リモコン、1：本体ボタン、2：リモコン & 本体ボタン、3：しない

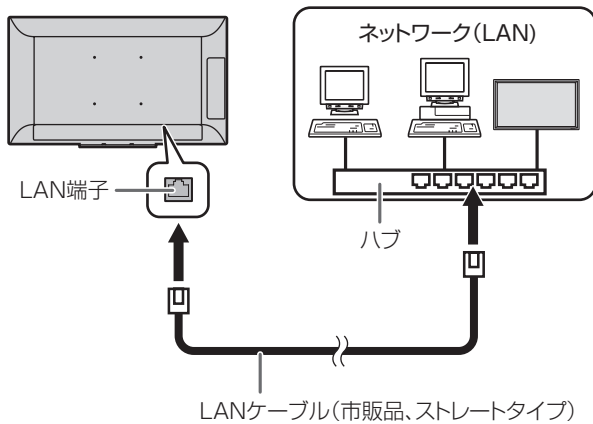
コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

その他

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容
解像度チェック	PXCK	R		-	現在の解像度を○○○、○○○の形で返信
消音	MUTE	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0 : しない、1 : する
製品情報	型名	INF1	R		値
	製造番号	SRNO	R		値
温度異常監視	DSTA	R		0	内部温度正常
				1	内部温度異常が発生し、電源待機状態
				2	過去に温度異常発生 (温度異常の情報を消すときは、主電源を切ります。)
				3	内部温度異常が発生し、バックライト輝度低減状態
				4	温度センサー異常
温度取得	ERRT	R		値	温度センサーの温度を返信する。 返信が「126」のときは、温度センサー異常。
最後の電源待機状態理由	STCA	W	0		内容初期化
		R	0	初期化以降電源待機状態無し	
			1	電源ボタンで電源待機状態	
			2	主電源スイッチで主電源「切」	
			3	RS-232C/LAN で電源待機状態	
			4	無信号で入力信号待機状態	
			6	温度異常で電源待機状態	
			20	無操作オフで電源待機状態	

コンピューターで本機を制御する (LAN)

本機をネットワークに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本機を制御することができます。
接続は、市販の LAN ケーブル (UTP ケーブル、カテゴリー 5、ストレートタイプ) を使用します。



ご参考

- あらかじめ「ネットワークに接続するための設定をする」に従って、本機に IP アドレスなどを設定しておく必要があります。(右記)
- 「パワーセーブモード」が「する」のとき、電源待機状態では、制御できません。
- LAN で制御するときは、「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定してください。(27 ページ)
- RS-232C と LAN の制御を同時に行うことはできません。

ネットワークに接続するための設定をする

本機の IP アドレスやサブネットマスクなどを、ご使用のネットワークに合わせて設定します。

設定はネットワークにより異なりますので、ネットワーク管理者にご相談ください。

本体設定メニューの「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定したあと、「LAN 設定」で設定します。(27 ページ) 各項目を設定したあと、「設定/リセット」で「設定」を選び ENTER ボタンを押してください。

DHCP クライアント

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合は「する」にします。

アドレスを手動で設定する場合は「しない」にします。

IP アドレス

DHCP クライアントが「しない」のとき、IP アドレスを設定します。

◀▶ボタンで項目を移動し、▲▼ボタンで数値を変更します。

サブネットマスク

DHCP クライアントが「しない」のとき、サブネットマスクを設定します。

◀▶ボタンで項目を移動し、▲▼ボタンで数値を変更します。

デフォルトゲートウェイ

DHCP クライアントが「しない」のとき、デフォルトゲートウェイを設定します。

デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

◀▶ボタンで項目を移動し、▲▼ボタンで数値を変更します。

設定/リセット

設定.....LAN 設定の各項目値を、本機に反映します。

リセット...LAN 設定の各項目値を、工場出荷時に戻します。

コマンドによる制御

ターミナルソフトなどを使い、RS-232C コマンド (30 ページ) で本機を制御することができます。

ターミナルソフトの説明書も併せてお読みください。

1. 本機と接続する。

- ① IP アドレス、データポート番号 (10008) を指定し、本機と接続する。
接続に成功すると、「Login:」が返信されます。
- ② ユーザー名を送信する。
 - ・ 「ユーザー名」 + 「」を送信してください。
 - ・ ユーザー名を設定していない場合は、「」を送信してください。
 - ・ 送信に成功すると、「 Password:」が返信されます。
- ③ パスワードを送信する。
 - ・ 「パスワード」 + 「」を送信してください。
 - ・ パスワードを設定していない場合は、「」を送信してください。
 - ・ 送信に成功すると、「OK 」が返信されます。

2. コマンドを送信し、本機を制御する。

- ・ コマンドは RS-232C と同じです。通信手順 (30 ページ) に従い操作してください。
- ・ RS-232C コマンド一覧表 (32 ページ) にあるコマンドが使えます。

3. 本機との接続を切断し、終了する。

- ① 「BYE 」を送信する。
送信に成功すると、「goodbye 」が返信され、接続が切断されます。

ご参考

- ・ 通信のない時間が、自動ログアウト時間で設定されている時間経過すると、切断されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

アフターサービスについては 39 ページをご覧ください。

映像も音声も出ない

- 電源コードは正しく接続されていますか。(12 ページ)
- 主電源スイッチが「切」になっていませんか。(16 ページ)
- 電源待機状態になっていませんか(電源ランプがオレンジ色に点灯)。(16 ページ)
- 入力切替は正しく選択されていますか。(18 ページ)
- 外部機器を接続している場合、機器側が動作(再生)状態になっていませんか。

リモコンが動作しない

- 電池の極性(+、-)が逆になっていませんか。(14 ページ)
- リモコンの乾電池が消耗していませんか。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。(14 ページ)
- 「その他」メニューの「本体ロック」でリモコンの操作を禁止していませんか。(28 ページ)

音が左右逆になる

片方しか音が出ない

- 音声用のケーブルは正しく接続されていますか。(11 ページ)

映像は出るが音が出ない

- 消音になっていませんか。(17 ページ)
- 音量調整が最小になっていませんか。(17 ページ)
- 音声ケーブル(市販品)は接続されていますか。
- 「音声調整」メニューの「音声出力」を「可変 2」に設定していると、スピーカーは消音状態となります。設定を確認してください。(26 ページ)

映像が乱れる

- 対応可能な信号でない場合が考えられます。(42、43 ページ)

HDMI 入力端子の映像が正しく表示できない

- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証品ですか。規格外のケーブルでは正しく動作しません。
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(42、43 ページ)

DisplayPort の映像が正しく表示できない

- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(42 ページ)
- DisplayPort ケーブルは DisplayPort 規格認証品ですか。規格外のケーブルでは正しく動作しません。

D-sub 入力端子の映像が正しく表示できない

- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(42 ページ)

映像の色味がおかしい

- 「映像調整」メニューの設定は正しいですか。「リセット」することで工場出荷時の設定に戻すことができます。(26 ページ)

操作ボタンが効かない

画面に何も映らない

- 外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。一度本体の主電源を入れ直し、動作を確認してください。(16 ページ)
- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。

入力モードが自動的に変わる

- 「無信号検出時自動入力切替」が「する」のとき、映像信号の入力が無くなると自動的に映像信号のある入力モードに変わります。そのため、下記のような場合でも入力モードが変わる場合があります。
 - コンピューターがシステムスタンバイ状態になった場合
 - 再生機器で映像の再生を停止した場合

タッチパネルが反応しない

- USB ケーブルは正しく接続されていますか。
- ペン専用モードになっていませんか。ペン専用モードのときは指でのタッチはできません。(18 ページ、20 ページ)
- 指専用モードになっていませんか。指専用モードのときはタッチペンでのタッチはできません。(18 ページ、20 ページ)
- 指が乾燥しているときは、反応しないことがあります。
- 本機の電源 ON 時は、画面に触らないでください。画面に触れると、正しく動作しない場合があります。その場合は、本機の電源を入れ直してください。
- 付属の USB ケーブルを使用してください。市販の USB ケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。また、付属の USB ケーブルの長さより長くしてお使いになりたい場合は、リピーター付き USB ケーブルで延長してください。
- 「USB 接続切替」が「OPTION」のとき、本機に接続しているコンピューターでタッチパネルを使用することはできません。

「自動低減中」と表示されている

- 本体の内部温度が高温になり、温度上昇を防止するため、バックライトの輝度が自動的にさがります。この場合、明るさを調整しても「自動低減中」と表示され、明るさを変えることはできません。
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

故障かな？と思ったら

電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅している

画面の隅に「自動低減中」と表示されている

- 温度異常を防止するために、本体の内部温度が高温になると、バックライトの輝度が自動的にさがります。その場合画面には、「自動低減中」と表示され、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅します。
- さらに内部温度が上昇すると、本機は自動的に電源待機状態になります。(電源ランプは赤色と緑色の交互に点滅します。)
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。
 - 温度が上昇して電源待機状態になったときは、本機の電源を入れ直すことで表示状態に戻せますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。(10 ページ)
 - 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態になっていないかご確認ください。本体背面などの通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
 - 本機の内部や通風孔にほこりがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるほこりはこまめに取り除いてください。内部のほこりの除去については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

ガラスの内側が曇った

- 湿度が高い場合、電源を入れたあとガラスの内側が曇る場合があります。この曇りは、周囲の温度とガラス内側の空気との温度差により生じる現象で、故障ではありません。そのまま使用を続けることで、曇りは消えます。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源のLEDバックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（37ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入のの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・品名：インフォメーションディスプレイ
- ・形名：PN-L401C
（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- ・ご購入日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・お名前
- ・電話番号
- ・ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にお問い合わせください。

仕様

製品仕様

形名	PN-L401C	
液晶表示素子	40型ワイド(対角100.33cm)TFT液晶	
最大解像度	1920×1080	
最大表示色	約1677万色	
画素ピッチ	水平0.45735mm×垂直0.4494mm	
輝度(標準値) ※1	210cd/m ² (液晶パネルは300cd/m ²)	
コントラスト比(標準値)	5000:1	
視野角	左右178°/上下178°(コントラスト比≥10)	
表示画面サイズ	横878.112mm×縦485.352mm	
映像入力信号	アナログRGB(0.7Vp-p) [75Ω]、HDMI準拠、DisplayPort準拠	
同期入力信号	水平/垂直セパレート(TTL:正/負)	
プラグ&プレイ	VESA DDC2B対応	
パワーマネージメント	VESA DPMS準拠	
入力端子	映像	HDMI(2系統) DisplayPort(1系統) ミニD-sub15ピン(3列)(1系統)
	音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)
	シリアル(RS-232C)	D-sub9ピン(1系統)
出力端子	音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX	
USB端子	Aタイプ(USB2.0準拠)(2系統)	
スピーカー出力	10W+10W	
タッチパネル	検出方式	静電容量方式
	コンピューター接続端子	USB(2.0準拠)(Bタイプ)(1系統)
拡張スロット	12V、2.5A(別売品での機能拡張時の供給電力)	
電源 ※2	AC100-240V、1.0A、50/60Hz	
使用温度条件 ※3※4	5~35℃	
使用湿度条件 ※4	20~80%(結露なきこと)	
消費電力(入力信号待機時 ※5※6/ 電源待機時 ※7)	89W(2W/2W)	
外形寸法(突起部を除く)	幅約939 mm×奥行約65 mm×高さ約546 mm	
質量	約17.5 kg	
梱包時寸法/質量	幅約1085 mm×奥行約200 mm×高さ約725 mm/約25 kg	

※1 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

※2 AC200V(50/60Hz)のコンセントを使用するときは、別売の電源コード(QACCJ1093MPPZ)を使用してください。

※3 平置き(水平面に対し垂直の状態から上向き20°を超えて傾ける場合)の場合は5℃~30℃で使用してください。
別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。

※4 接続するコンピューター等の条件も確認し、それらすべてを満たす条件内でご使用ください。

※5 別売品未装着時。

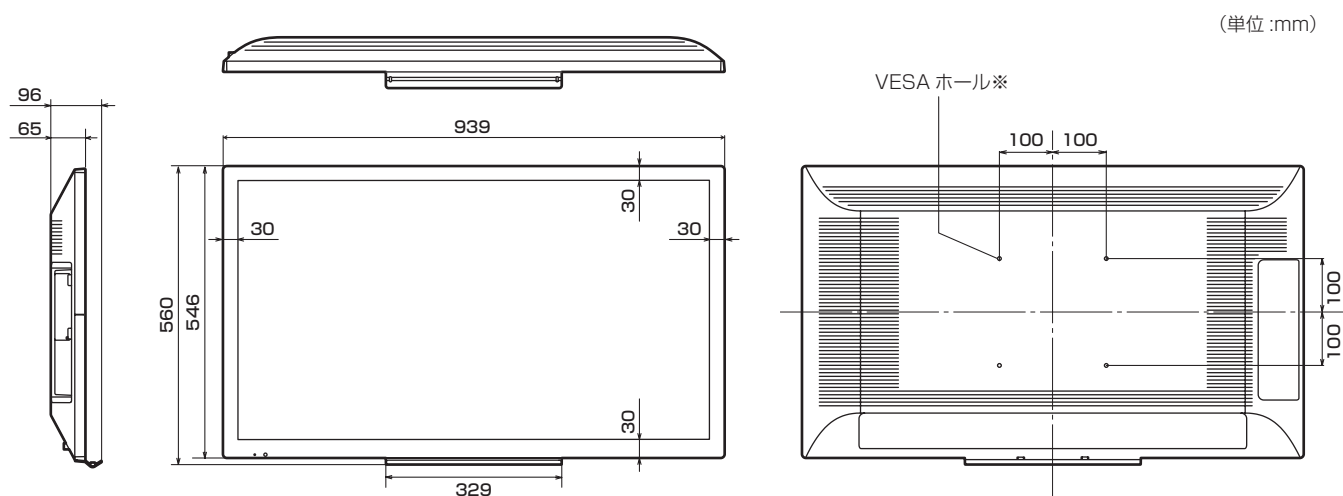
※6 「無信号検出時自動入力切替」が「しない」の場合。

※7 「パワーセーブモード」が「しない」の場合。

「パワーセーブモード」が「する」の場合は、0.5W。

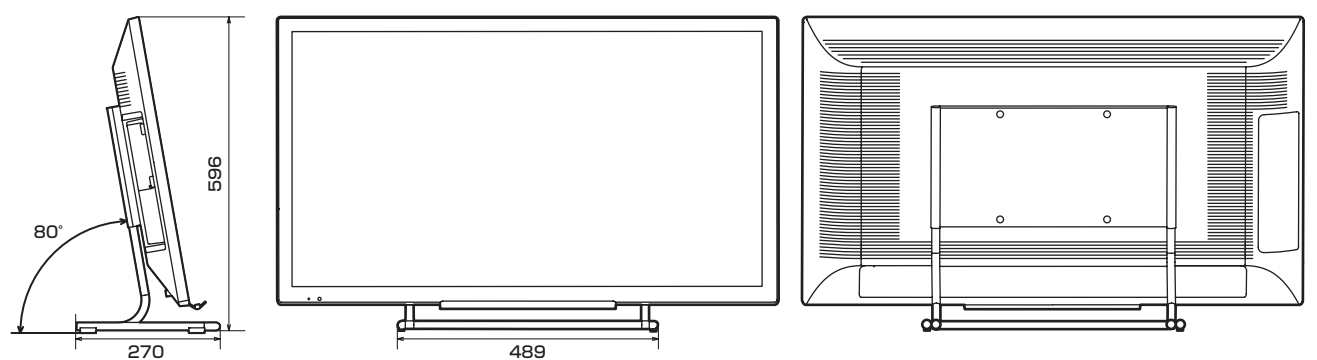
■ 寸法図

数値はおよその値です。



※ VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ +8 ~ 10mm のものを使用してください。

スタンド設置の場合



■ PC 対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドット周波数 (MHz)	デジタル		アナログ (D-SUB)
					DisplayPort	HDMI	
VESA	640×480	31.5	60	25.175	—	—	○
		37.9	72	31.5	—	—	○
		37.5	75	31.5	—	—	○
	800×600	35.1	56	36.0	—	—	○
		37.9	60	40.0	—	—	○
		48.1	72	50.0	—	—	○
		46.9	75	49.5	—	—	○
	1024×768	48.4	60	65.0	○	○	○
		56.5	70	75.0	○	○	○
		60.0	75	78.75	○	○	○
	1152×864	67.5	75	108.0	○	○	○
	1280×800	49.7	60	83.5	○	○	○
	1280×960	60.0	60	108.0	○	○	○
	1280×1024	64.0	60	108.0	○	○	○
		80.0	75	135.0	○	○	○
	1360×768	47.7	60	85.5	○	○	○
1400×1050	65.3	60	121.75	○	○	○	
1440×900	55.9	60	106.5	○	○	○	
1600×1200*	75.0	60	162.0	○	○	○	
1920×1200*	74.0	60	154.0	○	○	○	
ワイド*	1920×1080	67.5	60	148.5	○	○	○
US TEXT	720×400	31.5	70	28.3	○	○	○

* Dot by Dot以外では縮小して表示し、Dot by Dotではパネルサイズで切り取って表示します。

- 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

■ AV 対応信号タイミング

画面解像度	周波数(Hz)	HDMI
1920×1080p	50	○
	60	○
1920×1080i	50	○
	60	○
1280×720p	50	○
	60	○
720×576p	50	○
720×480p	60	○
720(1440)×576i	50	○
720(1440)×480i	60	○

■ パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS に準拠しています。パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピューターもこれらの規格に適合している必要があります。

DPMS : Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	89W	あり	あり
STANDBY	無表示	2W*	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

※ 「無信号検出時自動入力切替」が「しない」の場合。

■ DDC(プラグ&プレイ)

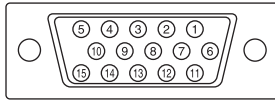
本機は、VESA の DDC (Display Data Channel) 規格をサポートしています。

DDC とは、ディスプレイとコンピューターのプラグ&プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピューターの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピューターが DDC に対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2B に対応しています。

■ D-sub 入力端子ピン配列

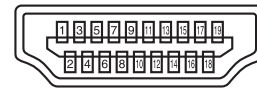
(ミニ D-sub 15 ピン)



番号	機能	番号	機能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■ HDMI 入力端子のピン配列

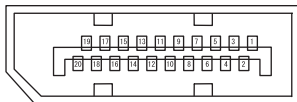
(HDMI Connector)



番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2+	11	TMDSクロックシールド
2	TMDSデータ2シールド	12	TMDSクロック-
3	TMDSデータ2-	13	CEC
4	TMDSデータ1+	14	N.C.
5	TMDSデータ1シールド	15	SCL
6	TMDSデータ1-	16	SDA
7	TMDSデータ0+	17	DDC/CEC GND
8	TMDSデータ0シールド	18	+5V
9	TMDSデータ0-	19	ホットプラグ検知
10	TMDSクロック+		

■ DisplayPort 入力端子ピン配列

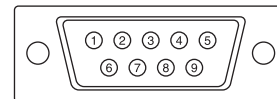
(DisplayPort 20 ピン)



番号	機能	番号	機能
1	MainLane3-	11	Gnd
2	Gnd	12	MainLane0+
3	MainLane3+	13	Gnd
4	MainLane2-	14	Gnd
5	Gnd	15	Aux+
6	MainLane2+	16	Gnd
7	MainLane1-	17	Aux-
8	Gnd	18	ホットプラグ検出
9	MainLane1+	19	Gnd
10	MainLane0-	20	3.3V

■ RS-232C 入力端子のピン配列

(D-sub 9 ピン)



番号	機能	番号	機能
1	N.C.	6	N.C.
2	送信データ	7	N.C.
3	受信データ	8	N.C.
4	N.C.	9	N.C.
5	GND		

使用しているソフトウェアのライセンス情報

■ ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。

■ 使用しているソフトウェアのライセンス表示

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

uIP Embedded TCP/IP Stack

Copyright (c) 2001-2006, Adam Dunkels.

Copyright (c) 2004-2006, Swedish Institute of Computer Science.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

SIL Open Font License

"Noto Mono" and "Noto Sans CJK JP"

licensed under the SIL Open Font License <http://www.google.com/get/noto/#/>

The Atmel® Software Framework (ASF)

Copyright (c) 2009-2016 Atmel Corporation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of Atmel may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
4. This software may only be redistributed and used in connection with an Atmel microcontroller product.

使用しているソフトウェアのライセンス情報

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ATMEL "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT ARE EXPRESSLY AND SPECIFICALLY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL ATMEL BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ARM® Cortex® Microcontroller Software Interface Standard (CMSIS)
"CMSIS Core Support and CMSIS DSP Include Files" and "CMSIS DSP Libraries"
Copyright (C) 2009-2014 ARM Limited. All rights reserved.

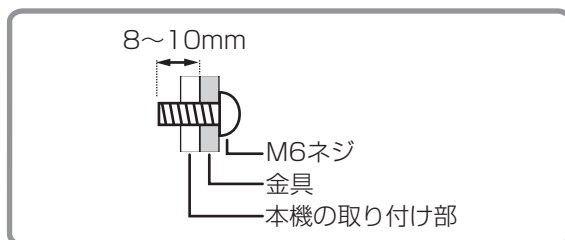
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM LIMITED nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）

- ・ 設置や取り外し、移動の際は、2人以上で行ってください。
- ・ 取り付け金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- ・ VESA規格の金具の取り付けには、M6ネジで、長さが取り付け金具の厚さ+8~10mmのものを使用してください。

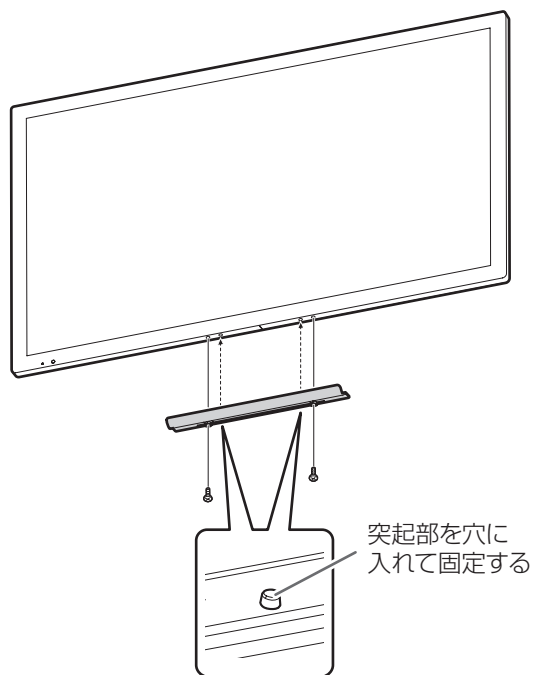


- ・ 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。
- ・ インパクトドライバーを使用しないでください。
- ・ 本機を設置したあとは転倒防止策を実施することをお勧めします。
- ・ 背面のVESAホール以外のネジ穴を設置に使わないでください。
- ・ 移動するときなどは、本体周辺部を持ってください。画面やトレーを持たないでください。破損や故障、けがの原因となることがあります。
- ・ 設置の際、台の上などに仮置きする場合は、画面や台が傷つかないように厚手の柔らかい布（毛布など）を敷いてください。
- ・ 再梱包時や、取り外しの際は、トレー、スタンドを取り外してください。

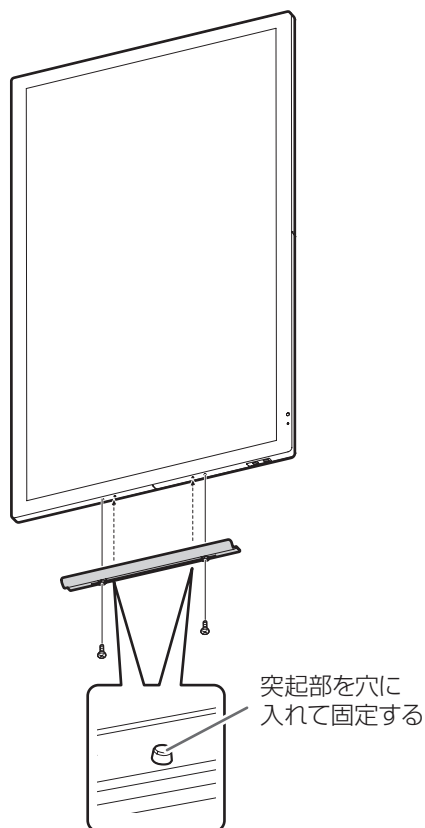
■ トレーの付けかた

トレーを、トレー取付ネジ M3（付属）2個で固定します。

横長で使用する場合



縦長で使用する場合



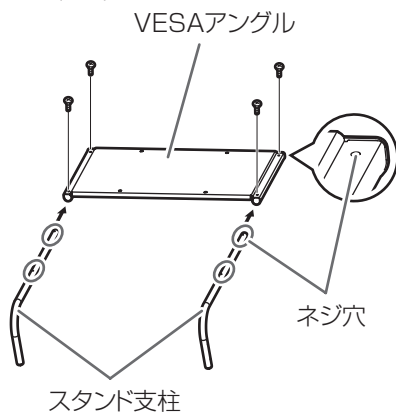
■ スタンドの組み立て

！ ご注意

- ・ スタンドは横長設置用です。縦長設置には使えません。

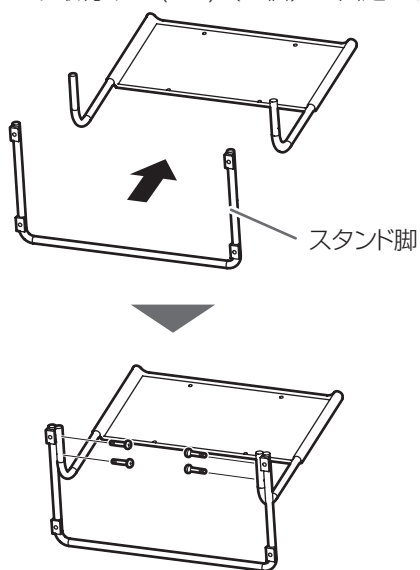
1. VESA アンクルにスタンド支柱（2本）を付ける。

図のように VESA アンクルのネジ穴が見える面を表向きにします。VESA アンクルにスタンド支柱を挿入し、スタンド取付ネジ (M3) (4 個) で固定します。



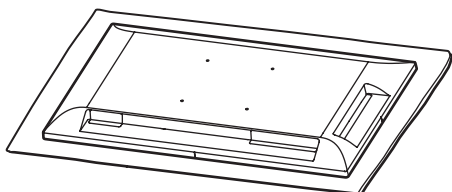
2. スタンド支柱にスタンド脚を付ける。

VESA アンクルを裏返し、スタンド支柱とスタンド脚の先端をスタンド取付ネジ (M4) (4 個) で固定します。



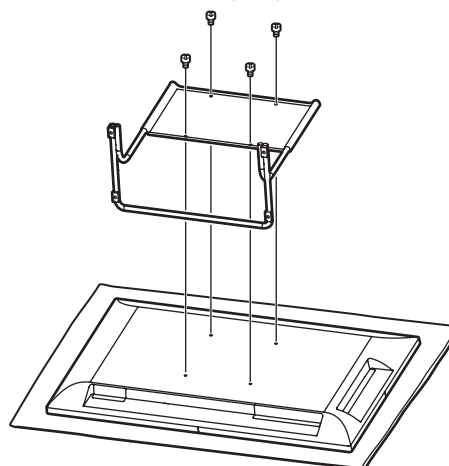
3. 本機全体が載る安定した水平なテーブルに、液晶パネルに傷がつかないよう厚手の柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶パネルが下向きになるようにして置く。

ディスプレイの底面がテーブルの端にくるように置きます。



4. 本機にスタンドを付ける。

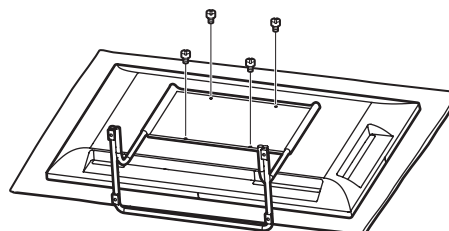
背面からスタンド取付ネジ (M6) (4 個) で固定します。



■ スタンドの分解

1. 本機全体が載る安定した水平なテーブルに、液晶パネルに傷がつかないよう厚手の柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶パネルが下向きになるようにして置く。

2. スタンドを固定しているネジ（4 個）を外し、スタンドを取り外す。



3. スタンドを組み立てと逆の手順で分解する。

シャープ株式会社

本 社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
ビジネスソリューション事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

●住所などは変わることがあります。(2019.6)

PN-L401C M JA19F(4)